



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2022～2023 年度 高山中央 RC 会長テーマ

イマジン ⇒ アクション ～止まった時間を動かそう！～



◆会長 中田 学 ◆幹事 二木 公太郎 ◆会報委員長 西 美紀 ◆会報担当 足立 常孝

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1ー2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席数	Make-up	出席率
本日 1306 回	54 名	54 名	39 名	——	72.22%
前々回 1304 回	54 名	54 名	35 名	1 名	66.67%

●点 鐘

●ロータリーソング

●高山中央ロータリークラブ職業倫理基準

●会長の時間

我らの生業

会長 中田 学

こんにちは！ 会長の時間です。

本日の例会は、高原龍士社会奉仕委員長にご担当いただき、移動例会ということで、飛騨慈光会様へお伺いします。終了時間も含め、少し変則的な感じとなりますが、よろしくお願いします。

せっかく、お伺いするので、少し予習ということで、1953 年（昭和 28 年）2 月、高山市仏教会が、戦災孤児などを中心とした児童のための「養護施設」設立の発願者となり幅広い施設開設運動を展開しました。その運動が実り 1955 年（昭和 30 年）6 月、今から 6 7 年前、「養護施設飛騨慈光園（現夕陽ヶ丘）」が開設されました。この施設の運営母体となるべく「飛騨慈光会」が設立され、翌年 9 月に、社会福祉法人として認可されたそうです。飛騨慈光会は、飛騨を一つの福祉エリアとしてとらえ、施設を高山市内だけに集中させるのではなく、そのエリア内で、各施設を各地に適正に配置して、地域福祉を推進していくという「飛騨福祉圏構想」という考えのもとに、運営を進められています。この構想は、障がいがあるからこそ、児童は大人になっても地元を離れることなく、自分の慣れ親しんだ地域で暮らしたいという思いを叶え、子どもたちや障がいを持った人たちが、近くで、「あんきに利用でき、安心して通える」、そんな施設づくりを目指してのものだそうです。そして、現在、児童養護施設（夕陽ヶ丘）と母子生活支援施設（清和寮）、障害児入所施設（山ゆり学園）、の 3 つ児童施設がありますが、そこでは、今、社会が抱えている大変大き



くて難しい問題である、ひとり親世帯の問題や、育児放棄、家庭内暴力や幼児虐待、DV などの大きな社会課題に、正面から、逃げることなく取り組まれています。本当に大変な担いをお願いしています。私たちに、いろいろなご協力をさせていただければいけないと思います。このようなことを、少し、頭に置いて、これから施設を見学させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。最後になりますが、高山市内、コロナ、なかなか減っていない状況で、ピリッとしませんが、インフルエンザも併せて、十分気をつけてください。以上です。ありがとうございました。

●幹事報告

幹事 二木 公太郎

○R I 本部より

・ザ・ロータリアン誌

○高山ロータリークラブより

・「高山 6 クラブ親睦ゴルフコンペ」参加のお礼状及び収支報告書

○高山西ロータリークラブより

・例会変更のお知らせ

12 月 16 日（金）→17 日（土）18:00～

クリスマス忘年例会 花水木

12 月 30 日（金）休会 定款により

<会報>

・下呂 RC

● **社会奉仕委員会 委員長 高原 龍士**

今年度、社会奉仕委員会委員長を仰せつかっております高原です。今回の移動例会は、私が飛騨慈光会後援会運営委員として出向させて頂いている事もありまして、飛騨慈光会様のご協力のもと、施設見学をさせて頂くことになりました。



近年、入会された方で知らない方もお見えだと思いますが、高山中央ロータリークラブと慈光会様との繋がり、毎年委員長が出向という形で運営委員をさせて頂いており、長きに渡りお付き合いさせて頂いております。

又、今年度は母子生活支援施設【リミエ】が完成し運営されていますが、メンバーでもあります、堀口工務店様、丸仲建設様がジョイントを組まれ施工されました。私自身も工事に携わらせて頂きました。是非、ロータリーメンバーの方々にも施設を見学して頂き、又お話しを聞いて頂く事で、皆様の児童福祉への更なるご理解と、慈光会様へのご支援を頂ければと思います、今回の移動例会とさせて頂きました。短い時間ですが、今日は宜しくお願い致します。

● **常務理事 兼 総括施設長 森本 雅樹 様**



皆様、こんにちは。今日はようこそお越し下さいました。高山中央ロータリークラブの皆様には、ご協力を頂戴しておりましてありがとうございます。特に慈光会後援会に対しましては、平成 18 年度に発足したわけですが、それ以降、運営委員という形でご協力頂いております。昭和 30 年に事業が始まりまして今年で 67 年です。児童福祉施設・障害福祉施設等を運用しており、500 名を超える方のご支援をさせて頂いております。施設長の話のあと見て頂ければ今日は準備しております。どうぞよろしくお願い致します。

● **業務執行理事 夕陽ヶ丘施設長 兼 リミエ施設長 中沢 泰 様**



飛騨慈光会の運営する児童福祉施設

施設名	夕陽ヶ丘	リミエ (旧清和寮・R4年度移転新築/改称)	山ゆり学園
種別	児童養護施設	母子生活支援施設	福祉型障がい児入所施設
	本来の家庭で暮らすことが適当ではないと判断された子ども達が生活している施設。(虐待や保護者の病気、経済的事情など)1歳からおおむね18歳までの子どもが対象。家庭にかかわる養育の場として、協調性や思いやりの心を育み、子ども達の幸せと健やかな発達を保障し、自立を支援しています。また子ども達が再び本来の家庭で暮らせるようになるための保護者支援をしています。	18歳未満の子どもを養育している母子家庭、何らかの事情により離婚が成立していないなど母子家庭に準ずる家庭が利用できる。親子で入所できる唯一の施設。DVからの保護、母親の疾病など養育能力に課題のある家庭、経済的な困難などが入所の主な理由。サポートを受けながら再び自立を目指すための施設です。	幼児から18歳までの知的障がいや重複障がいのある児童が生活する施設。日々の生活では、生活リズムを整え、遊びや生活の中から人と触れ合う喜びや主体的に生きていく意欲を引き出していけるよう支援しています。子ども達は、支援学校や地域の学校に通学しています。また大人として地域で生活していく力を身に付けられるよう自立支援にも力を入れています。
定員	36名 (本館24、小規模GC6、地域小規模6)	20世帯、一時保護専用室2	30名
現員	31名 (幼児4,小学生10,中学生6,高校生11) (11月27日現在、委託一時保護児童5名)	9世帯 児童数17名 (幼児6、小学生7、中学生2、高校生2)	25名 (小学部6、中学部7、高等部12) ※男子20名、女子5名
現状	飛騨圏域からの入所16名 (52%) 一時保護児童の増加 (R3年度実績17人、延べ日数546日) 発達障がいを含む、軽度障がい児の増加	全国的に入所世帯数減少傾向 DVからの保護を主訴とする利用が中心 飛騨圏域からの入所約半数、県内他圏域及び県外からの入所半数	飛騨圏域からの入所6名 (24%) 高齢児化…高等部児童12名 (48%) 障がいの軽度化…療育手帳B判定11名 (45%) 養護面の課題 (虐待含む) を伴うケース増
課題	小規模化、地域分散化への取組と検証 ケアニーズの高い子どもへの専門性向上 家族再統合、里親委託を含めた関係機関調整 生活困難な状況にある退園生への支援	DVと児童虐待の複合ケースへの対応 母子一体での保護、支援が必要な世帯への対応 母親の疾患等、養育に課題のある世帯への支援 施設としてのアフターケアと地域支援への移行	生活環境の小規模化への取組 愛着障害を伴う子どもへの対応 進路決定における関係機関及び家庭調整 施設としてのアフターケアと地域支援への移行

< ニコニコ BOX >

サッカー日本と自分に、諦めず頑張れ！
岩垣津 亘

11/23 はぐるま会、一日雨の予報でその通り寒い雨の中、プレーしましたが、同伴の中田一男さんのアドバイスもあり2位となりました。
ありがとうございました。 大原 誠

